

# 須川展也

## サクソフォン・リサイタル

世界最高の実力を、  
ご堪能ください。

©Yuji Hori



piano 加藤 昌則

### program

- ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
- 加藤昌則：スロヴァキアン・ラブソディ
- 小六禮次郎：SAKURA
- ハーライン / 加藤昌則：星に願いを
- シャーマン / 石川亮太編：メリー・ポピンズ・サキソマジック
- ～チムチムチェリー&スーパーカリフラジリスティック
- エクスピアリドーシャス 他

※曲目・曲順は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

2011年

# 12月4日(日)

14:00 開演 [13:00 開場]

寒河江市市民文化会館

13:30からプレコンサート開催  
ご来場はお早めに!

料金

一般 1,000 円 (当日 1,500円)

学生 500 円 (当日 800円)

(全席自由)

※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の  
助成により、低料金に設定しています。

チケット発売所

寒河江市文化センター / 松田書店コム店・フローラ店  
サトーおんがく館 / 富岡本店 (山形市七日町)  
辻楽器店 (山形市十日町) / リバティ楽器 (山形市あこや町)  
サトー楽器 (天童市) / 管楽器工房 Brass (東根市)

お問合せ

# 0237-86-5111

(寒河江市文化センター内実行委員会)

※就学前のお子様のご入場を不可とさせていただきます。  
※当日は、2歳～5歳のキッズルーム(託児所)を開設いたします。  
希望の方は11月18日(金)まで申し込みください。  
※本公演のチケットの営利目的の転売を禁止いたします。

### プレコンサート

～ 13:30 より ～

A.リード：「アルメニアン・ダンス part1」

指揮：須川 展也

カーペンターズ：「青春の輝き」

指揮：佐藤誠基 / ソロ：須川 展也

演奏：寒河江吹奏楽団

## 須川展也 Nobuya Sugawa [サクソフォン]

東京藝術大学卒業。サクソフォンを故・大室勇一氏に師事。第51回日本音楽コンクール管楽器部門1位なしの2位、第1回日本管打楽器コンクール・サクソフォン部門において第1位を得てデビュー。当時はまだ比較的認知度の浅かったクラシック・サクソフォンの分野に脚光を浴びさせ、今もなお、サクソフォンを学ぶ多くの若者たちの目標的存在となっている。

93年第3回出光音楽賞、94年村松賞受賞。98年JT音楽家シリーズのテレビCMに出演し、圧倒的な人気を得た。日本での年間コンサート数は約100公演。

海外では、文化庁派遣によるトルコ公演やパリ音楽院、アメリカの音楽大学でマスタークラスを行っており、99年秋には、チェコのオーケストラから招かれ共演した。

レコーディングでは、これまでに約30に及ぶCDをリリース。

フィルハーモニア管弦楽団と共演した「サクソフォン協奏曲集」(EMI Music)が96年度文化庁芸術作品賞を、トルヴェール・クワルテットの「マルセル・ミュールに捧ぐ」(EMI Music)が2001年度の同庁芸術祭レコード部門大賞を受賞した。03年1月に発売された3枚組CD『エキシビジョン・オブ・サクソフォン』は各誌から絶賛を浴びている。08年4月にはavex-CLASSICSと、英・シャンドスよりオーケストラとの共演によるソロ・アルバムを、また09年5月avex-CLASSICSより東京佼成ウインドとの共演で「ヴィルトゥオーゾ・コンチェルト」をリリース。

98年、BBCフィルハーモニックと、吉松隆作曲の「サイバーバード協奏曲」(英シャンドス)を再録、世界に紹介されている。00年5月には、ジャズ・ベースの神様、ロン・カーターとの共演で、また02年7月にはジャズ・ギターのマーティン・テイラーとのCDリリースとコンサート・ツアーを成功させた。

日本のほとんどのオーケストラと共演を果たしており、01年2月にはNHK交響楽団の定期公演で、シャルル・デュトワの指揮による西村朗作曲のサクソフォン協奏曲を演奏、名曲と名演が大きな反響を呼んだ。02年4月には飯森範親指揮でドイツ・ヴェルテンベルクフィルとの共演し、現地紙でも大きく取り上げられた。

近年では08年矢崎彦太郎指揮での台湾・台北交響楽団との公演や、佐渡裕指揮でイギリス・BBCフィルとの演奏が現地でラジオ放送された。吹奏楽ではイーストマン・ウインド・アンサンブル、パリギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団と共演、世界的な評価を得ている。

02年4月からのNHK連続テレビ小説『さくら』のテーマ音楽を演奏。ラジオ・テレビへの出演も多い。

03年3月にはウィーン・ムジークフェラインにてリサイタルを大成功のうちに終了。また同月スイスのアルガウ交響楽団との共演も行った。

1989年から2010年まで、東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスターを22年余り務め、現在は協力アーティスト。

最近では作曲家への委嘱も積極的に行っており、西村朗氏や吉松隆氏、本多俊之氏、E.グレッグソン氏、P.スウェルツ氏などに委嘱作品を依頼し、サクソフォン音楽の発展に力を注いでいる。

現在、東京藝術大学非常勤講師、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者。96年浜松ゆかりの芸術家顕彰を表彰されるほか、09年より「浜松市やらまいか大使」に就任。

クラシック・サクソフォンの可能性を追求して、自由なスタンスで活動する、日本を代表する管楽器奏者のひとりである。

<http://www.sugawasax.com>



©Wataru Sato

## 寒河江吹奏楽団

1976年創立、今年で35周年を迎える。市年2回の演奏会と吹奏楽コンクール出場の他、市内音楽団体との演奏会、地元中学生への楽器講習会等、地域に根ざした活動を行っている。平成14年には吹奏楽界の巨匠故A.リード氏、18年にはサクソ奏者織田浩司(オリタノボッタ)氏など、多くのゲストを招いての演奏会を行っている。

平成5年より山形中央高校教諭佐藤誠基氏を常任指揮者とし、吹奏楽コンクールにおいては平成13年度より延べ9回東北大会へ出場し、昨年は金賞を受賞した。

今回演奏するアルメニアン・ダンスPart1は、A.リード氏と共演した思い出深い曲である。

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~kansui/>



## 加藤 昌則 Masanori Kato [ピアノ]

東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。

作曲家としての活躍は目覚ましく、いわゆる「現代音楽」とは全く異なる視点で書かれた、美しく斬新な抒情性に満ちた作品は、多くの愛好者を得ている。

05年「スロヴァキアン・ラブソディ」を作曲、スロヴァキア・フィル東京公演で初演された。同作品は金聖響指揮、東京交響楽団の演奏でエイベックスクラシックスで録音された。

また、09年3月、プラティスラヴァでも演奏され満場の喝采を受けた。

06年オペラ「ヤマタノオロチ」を発表、日経新聞紙などで絶賛される。

また、07年神奈川フィル定期演奏会で委嘱作品「刻の里標石」が初演された(東京オペラシティの10周年ガラ公演にて再演)。

ピアニストとしても元々定評があったが、近年さらにその評価を高めている。

リサイタルのみならず、室内楽、伴奏など幅広く演奏活動を行っており、共演者としての指名を様々な楽器の奏者から受けている。

<http://www.masanori-music.com>



©Wataru Nishijima